

全国ICT教育首長サミット

日時

平成29年2月22日(水)
12:30～18:00(予定)

場所

東京国際交流館 プラザ平成
東京都江東区青海2-2-1(裏面参照)

主なプログラム(案)

- 2017日本ICT教育アワード
- エデュケーション
～教育ICT推進のためのサロン～
- ブース展示
～ICT関連企業による展示～

全国ICT教育首長協議会

<https://ictmayors.jp/>

(参加費無料：お申し込みはウェブから)

本サミットについて

文部科学省の「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」の最終まとめでは、ICTを活用した学習指導の充実とともに、学校のICT環境の整備について教育委員会と地方公共団体の長が連携協力して取組を進めていくことが求められています。地域社会が一体となった取組を全国的に推進する観点から、2015年に茨城県つくば市で開催された「ICT教育全国首長サミット」を定期的に開催し、併せて先進的・特徴的な取組を実施している地方公共団体への表彰等を通じて教育の情報化を推進するとともに、地域社会が一体となった推進推奨事例の収集・発信や、その取組を企画・検討している地方公共団体等に対して支援していくことが方針として示されています。

これを受けて、全国自治体の首長が中心となって、2016年8月に「全国ICT教育首長協議会」が設立され、その総会において「全国ICT教育首長サミット」を開催していくことが確認され、このほど第1回のサミットが開催されることになりました。

主な参加者(予定・順不同)

文部科学省

全国ICT教育首長協議会 役員

会長 佐賀県多久市長	横尾 俊彦
役員 福島県郡山市長	品川 万里
同 茨城県つくば市長	五十嵐立青
同 東京都荒川区長	西川 太一郎
同 長野県下伊那郡喬木村長	市瀬 直史
同 岐阜県岐阜市長	細江 茂光
同 滋賀県草津市長	橋川 渉
同 大阪府箕面市長	倉田 哲郎
同 佐賀県武雄市長	小松 政
同 熊本県球磨郡山江村長	内山 慶治

後援

文部科学省

お問い合わせ先

全国ICT教育首長協議会事務局
東京都港区虎ノ門3-10-11

(一財)日本視聴覚教育協会内

TEL: 03-3431-2186

E-MAIL: info@ictmayors.jp

プログラム (案)

時間	内容	
12:00-12:30	受付	ブース展示 最新のエレクトロニクス、デジタル教科書・教材等の展示 電子黒板、デジタル教科書・教材等の展示 最新のネットワーク環境、タブレット端末、 「3階メインホワイエ」
12:30-13:10	開会行事【3階 国際交流会議場】 会長挨拶、来賓祝辞（文部科学省 他） 役員紹介、来賓紹介 講話（独立行政法人日本学術振興会 安西 祐一郎 理事長）	
13:10-15:20	2017 日本 I C T 教育アワード※ ¹ 【3階 国際交流会議場】 第1次審査概評（審査委員長 東原義訓 信州大学教授） 第2次審査 第一次審査通過の6自治体によるプレゼンテーション 表彰式 （文部科学大臣賞 1自治体） （全国 I C T 教育首長協議会長賞 5自治体） 記念撮影（受賞者及び当日参加自治体首長）	
15:20-15:35	休憩	
15:35-16:45	エデュケーション※ ² ～教育ICT推進のためのサロン～ 【3階 国際交流会議場・メディアホール】 テーマ1 「教育に特化した機器・ハードの在り方」「標準仕様の是非」「効果をあげる研修方法」など テーマ2 「ネットワークに関する今後の課題」「機器とクラウド、ネットワークのパッケージの在り方」など	
16:45-17:00	閉会・移動	
17:00-18:00	懇親会【4階 会議室1】 ※会費：4,000円	

アクセス



- ・ゆりかもめ「船の科学館」東出口より徒歩約3分
- ・りんかい線「東京テレポート」B出口より徒歩約15分

※1 「2017日本ICT教育アワード」について

全国ICT教育首長協議会のモデルケースとしてふさわしく、首長の主体的な行動がその地域の教育課題を解決し、その取組がICT教育導入の進んでいない他の地域でも展開できる取組を顕彰します。

アワードは一次審査通過自治体から、文部科学大臣賞、全国ICT教育首長協議会 会長賞が授与されます。

当日は、自治体によるプレゼンテーション審査を行い、加盟自治体首長等の投票により決定します。

※2 「エデュケーション」について

首長と産官学のプラットフォームで教育現場の課題をディスカッションする情報交流の場として位置づけています。

参加のお申し込み他、各種お問合せは、全国ICT教育首長協議会ホームページをご覧ください。

参加費無料！
(要事前登録)